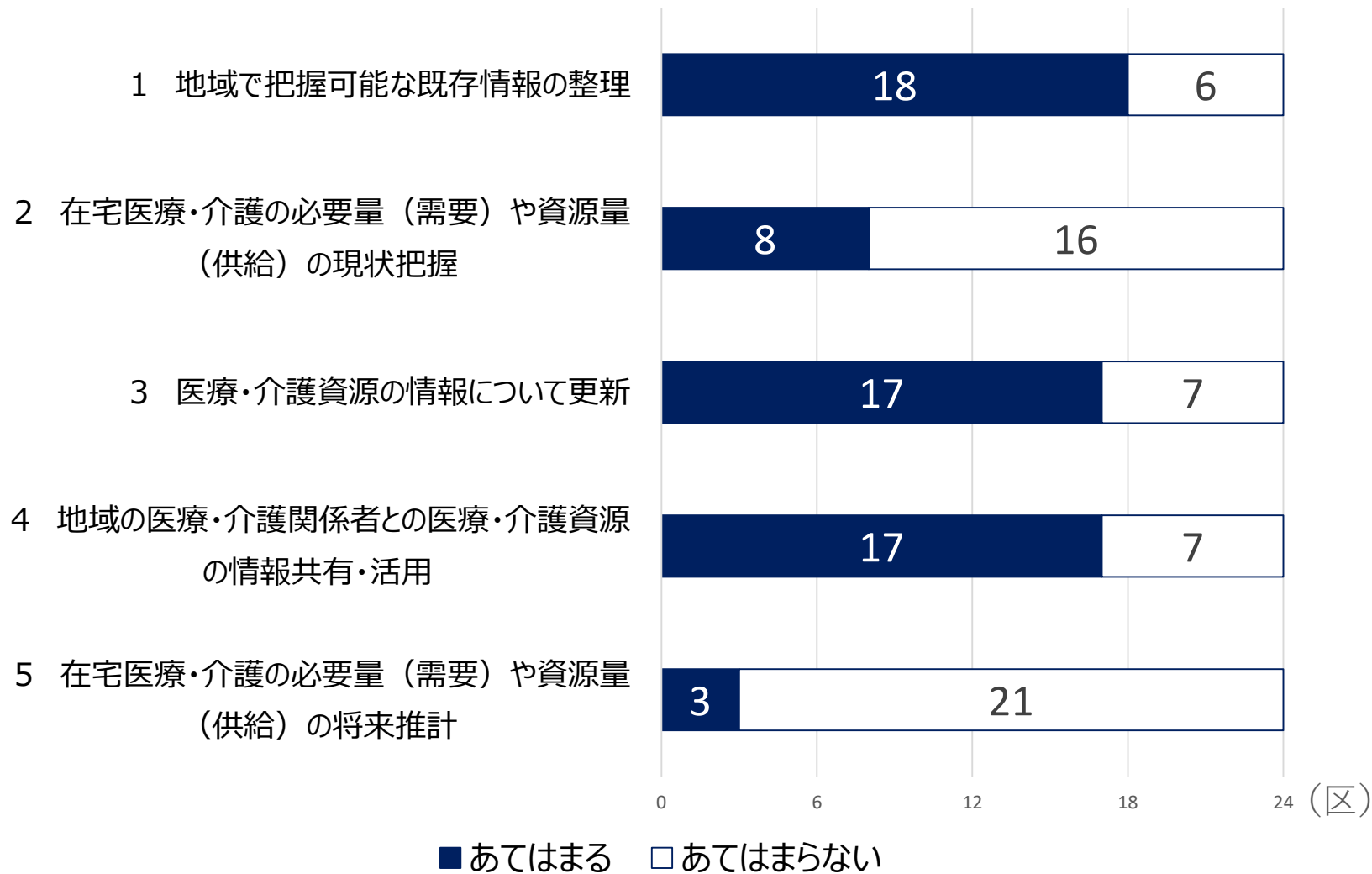


令和 2 年度 上半期

区役所・相談支援室の取組み 状況について

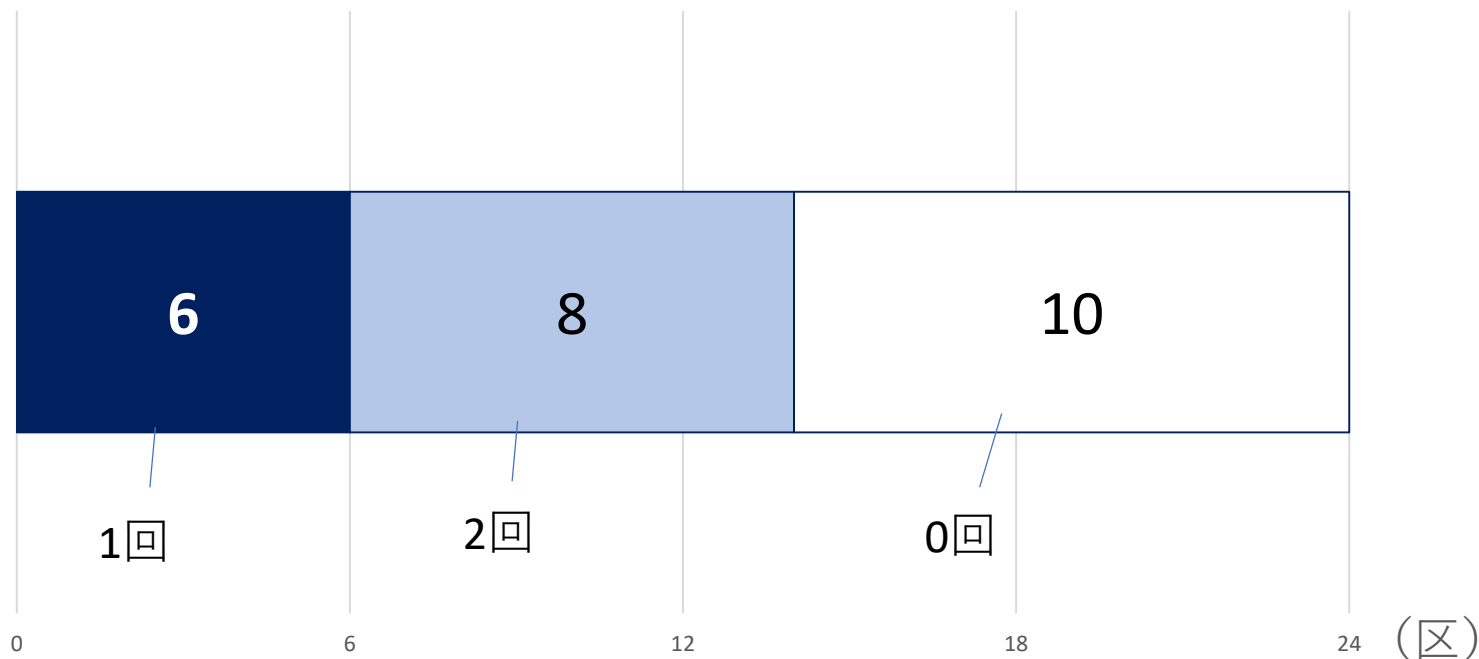
区役所における取組み

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握



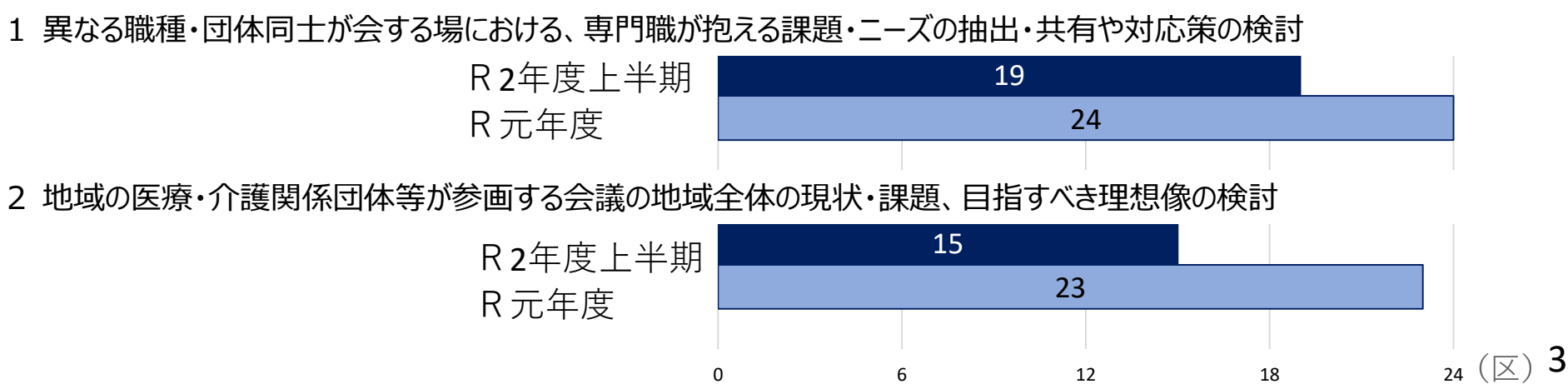
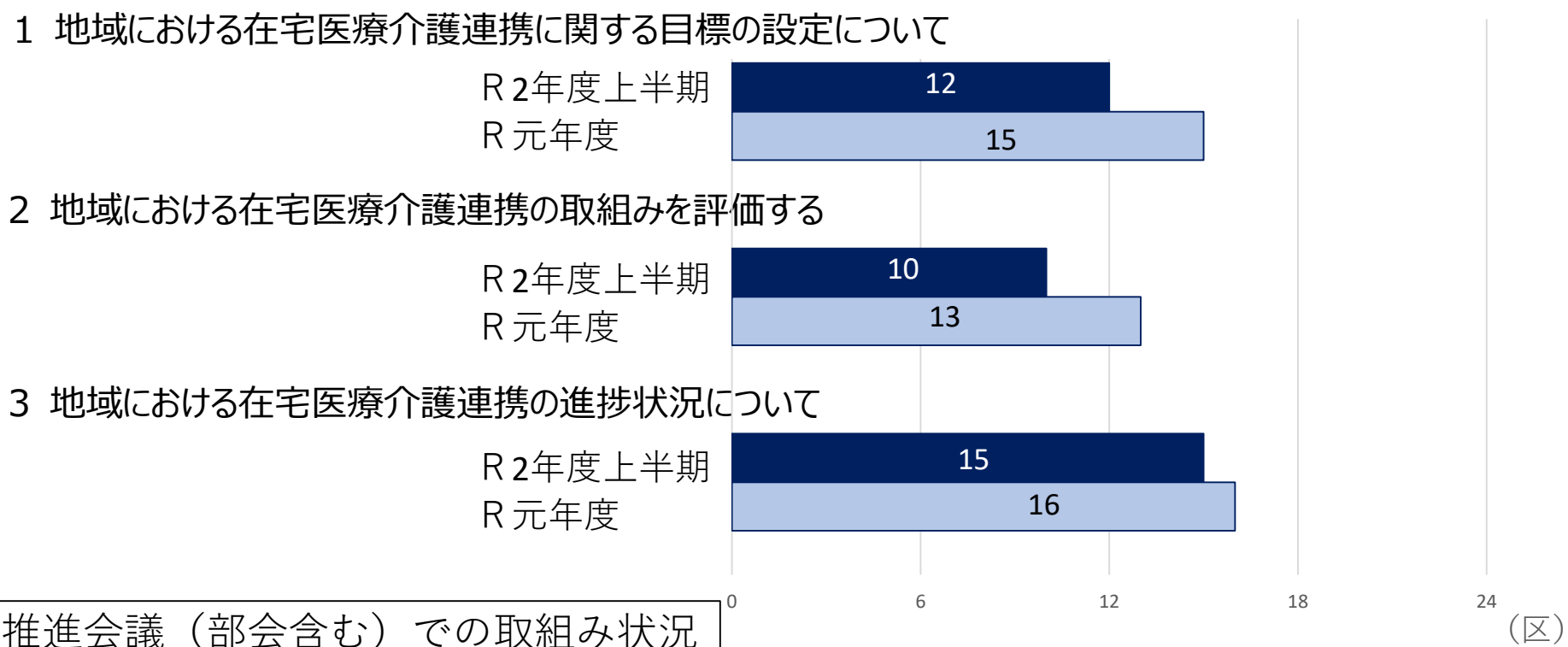
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

推進会議開催状況

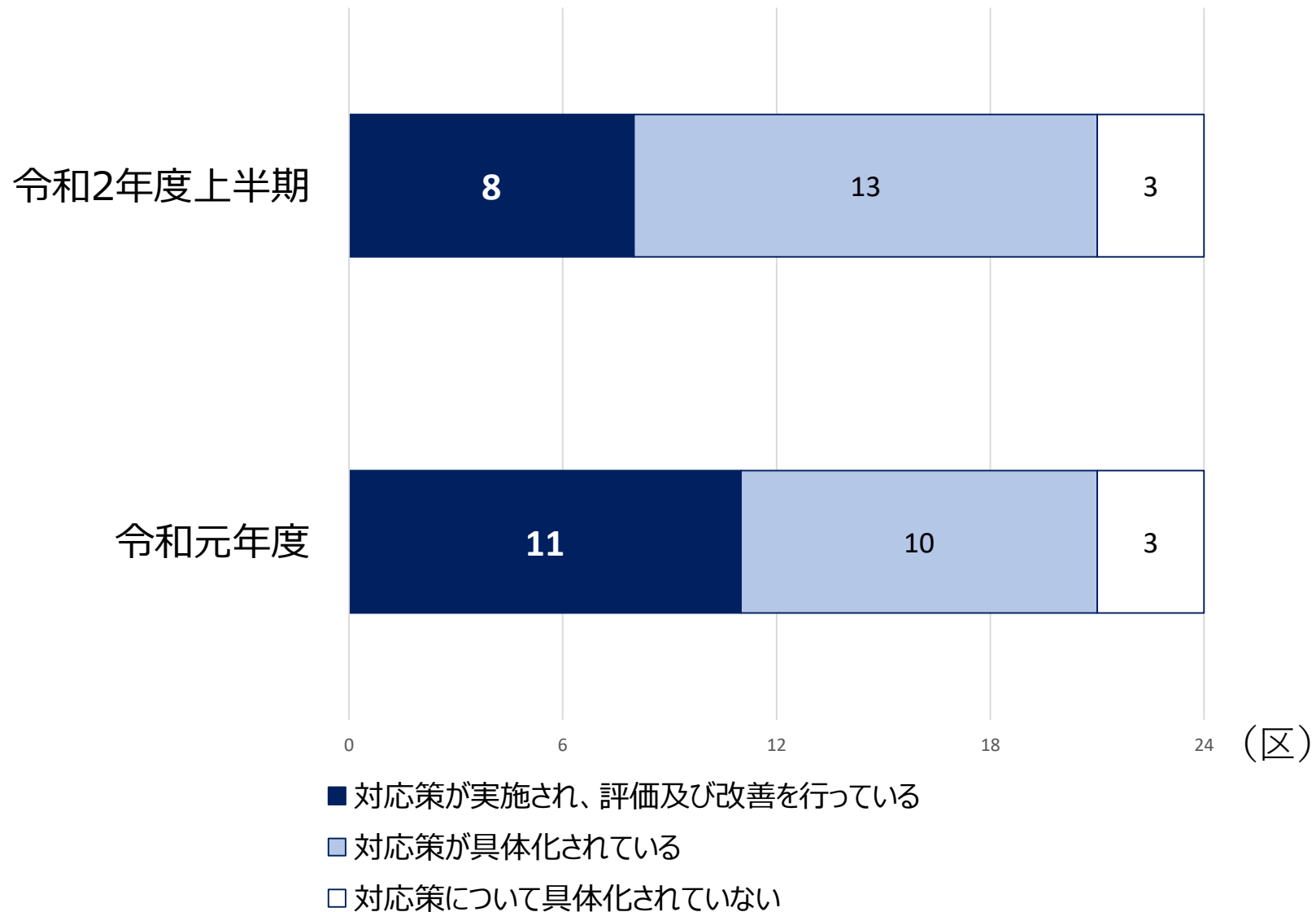


- ・会議開催にあたり、広い会場の確保やメンバーの制限、書面開催等工夫して開催した区もあり。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、会議の開催ができなかった区が複数あり。

推進会議で検討した内容

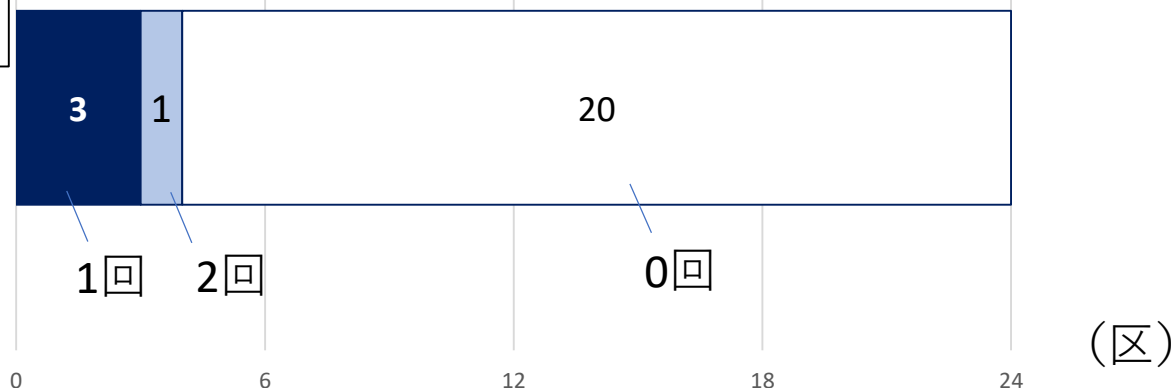


対応策の検討状況



(力) 医療・介護関係者の研修

研修会の実施回数



研修テーマ

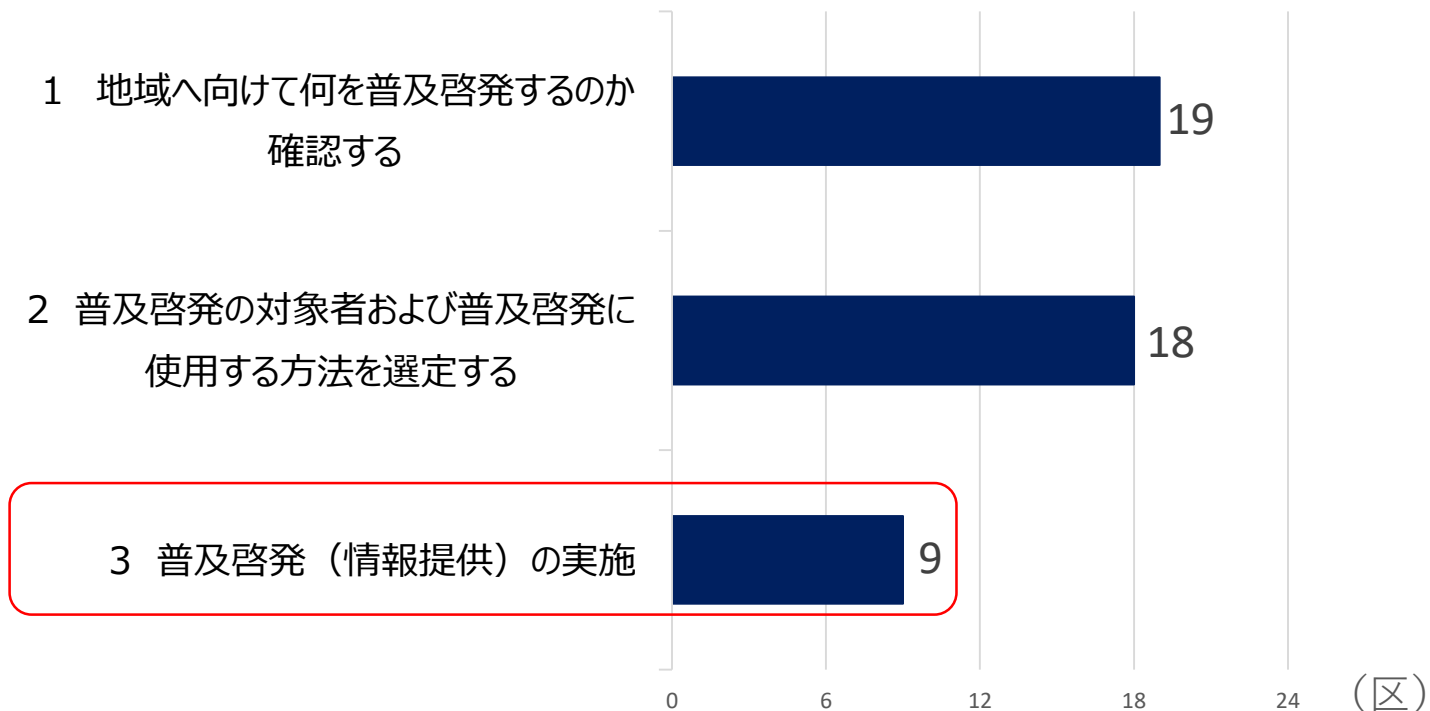
- ・新型コロナウイルス感染症への対応状況や課題（大正区・オンライン）
- ・新型コロナウイルス感染症流行時の高齢者への対応（大正区・併用）
- ・在宅医療・介護における感染予防対策（淀川区・参集）
- ・認知症支援のための事例検討会（阿倍野区・参集）
- ・ひとつの家庭におけるケアマネジャーと相談員との連携について（西淀川区・併用）

参考：10月以降開催（予定含む）

- ・ACPを深めよう（此花区）
- ・どこまでするの？感染対策（東成区）

- ・実施計画では上半期19回/24区（年間45回/24区）の計画がされていたが、5回/4区の開催にとどまった。
- ・人数を絞っての参集開催やオンラインとの併用開催もあり。

(キ) 地域住民への普及啓発



普及啓発の方法

○ポスター・リーフレットの作成・配布 8区

○区のホームページ・広報誌への掲載 6区

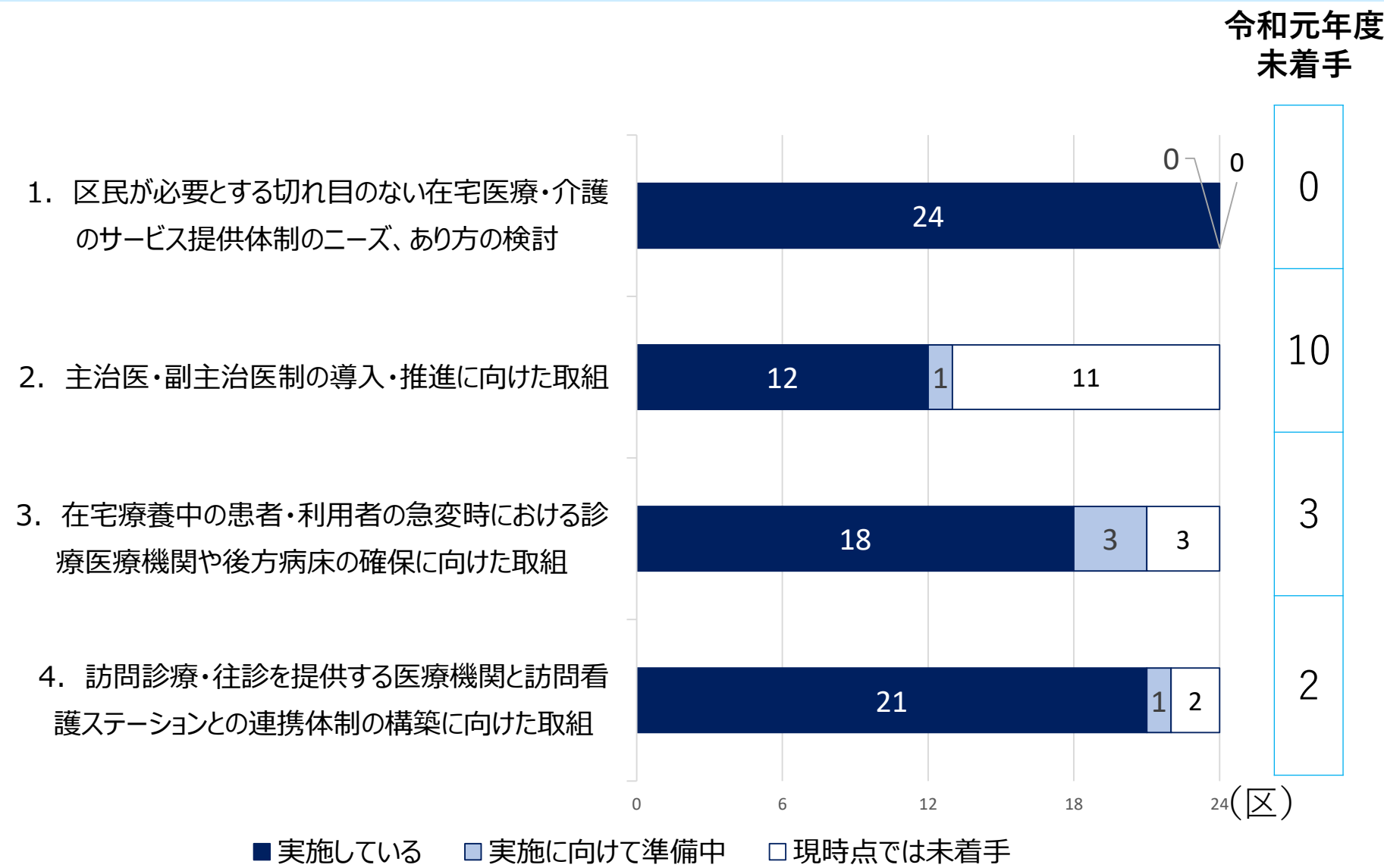
○講演会の開催 3区

テーマ：「ACPについて（港区）」「人生会議（大正区）」
「もしばなカードを活用した学習会（西淀川区）」

※講演会はいずれも参集型。今年度は講演会をとりやめて動画作成や、リーフレット作成へ変更した区もあり。

相談支援室における取組み

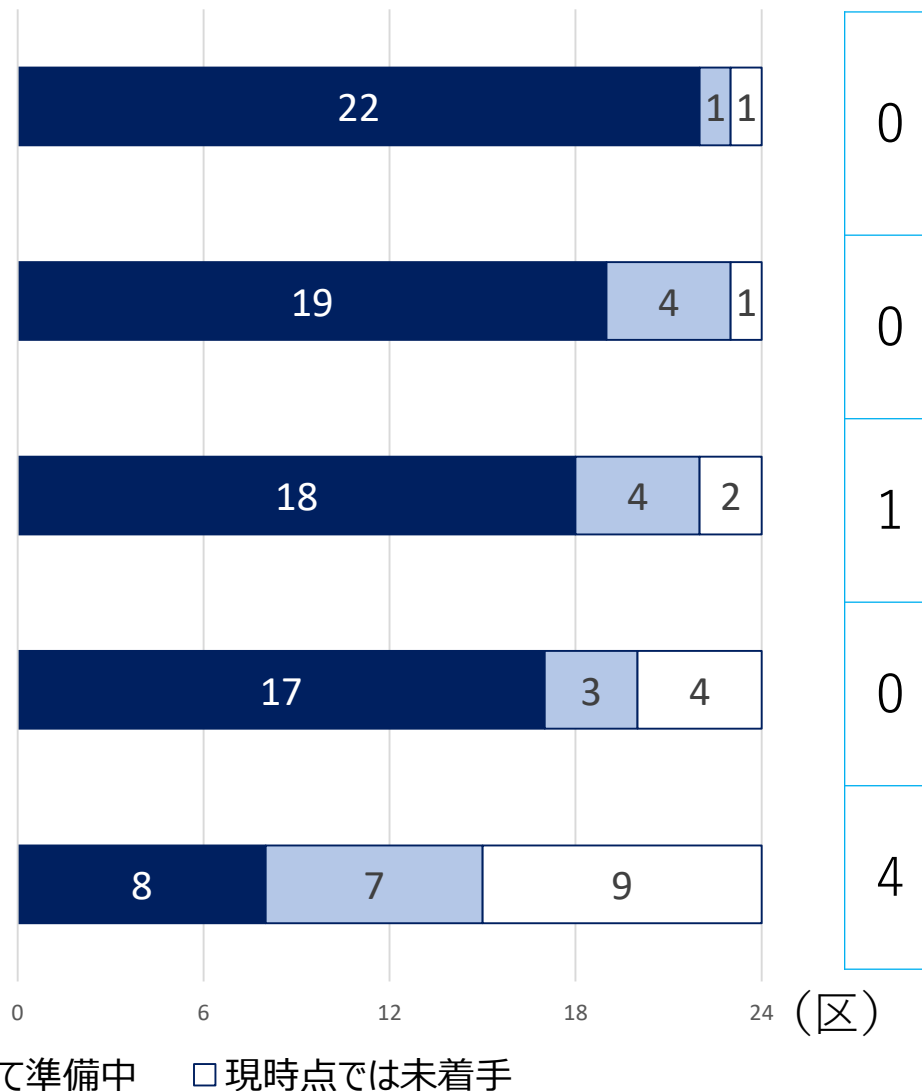
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進



(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

令和元年度
未着手

1. 医療・介護関係者間で共有すべき情報や情報共有のニーズ、共有方法についての検討
2. 現在使用されている情報共有ツールやその活用状況の確認
3. 地域で充実又は作成すべき情報共有ツールの検討
4. 情報共有ツールの導入や利用促進
5. 4で導入した情報共有ツールの活用状況や効果についての評価や改善

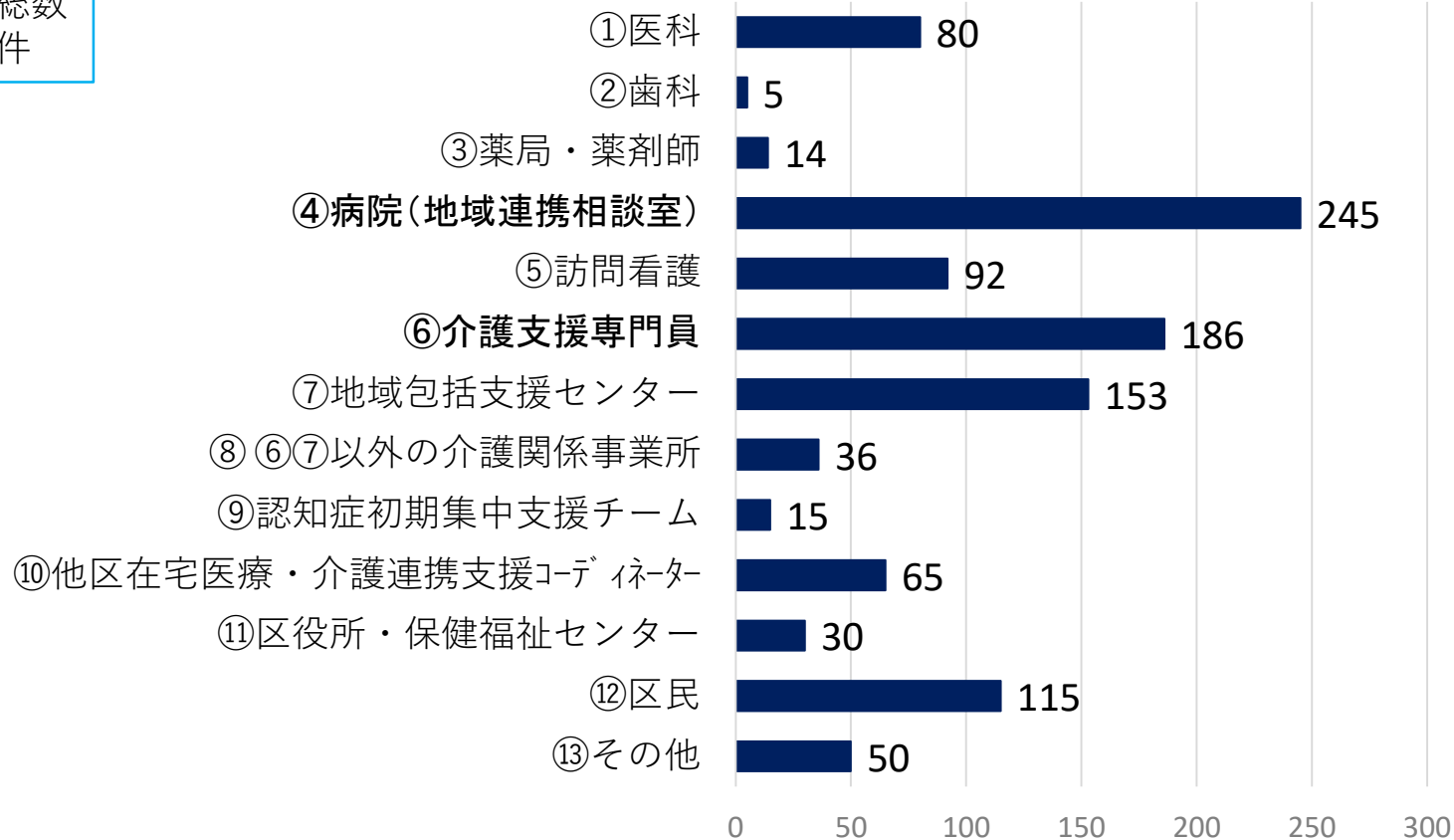


(才) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

個別相談ケース（相談者別内訳）

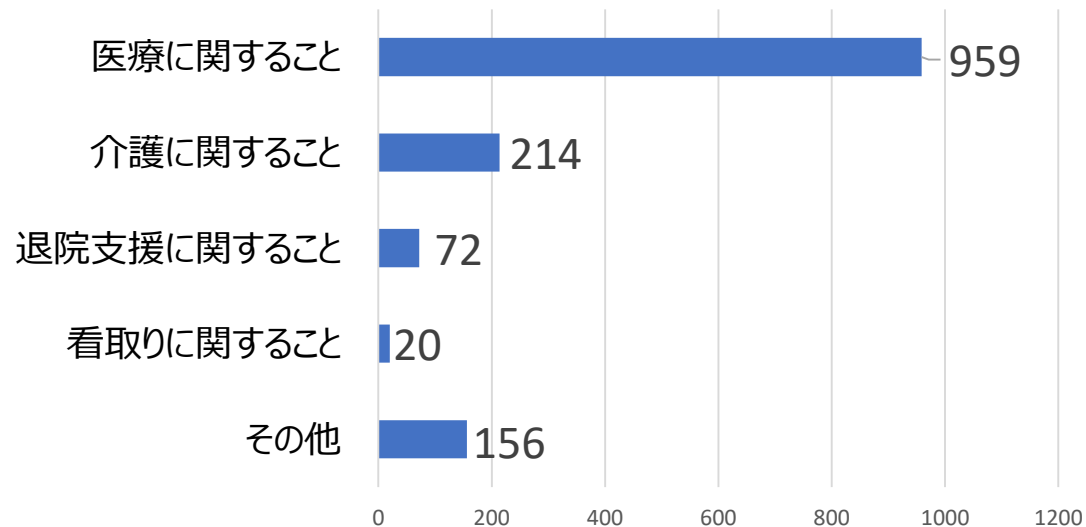
令和2年度上半期

相談総数
1086件

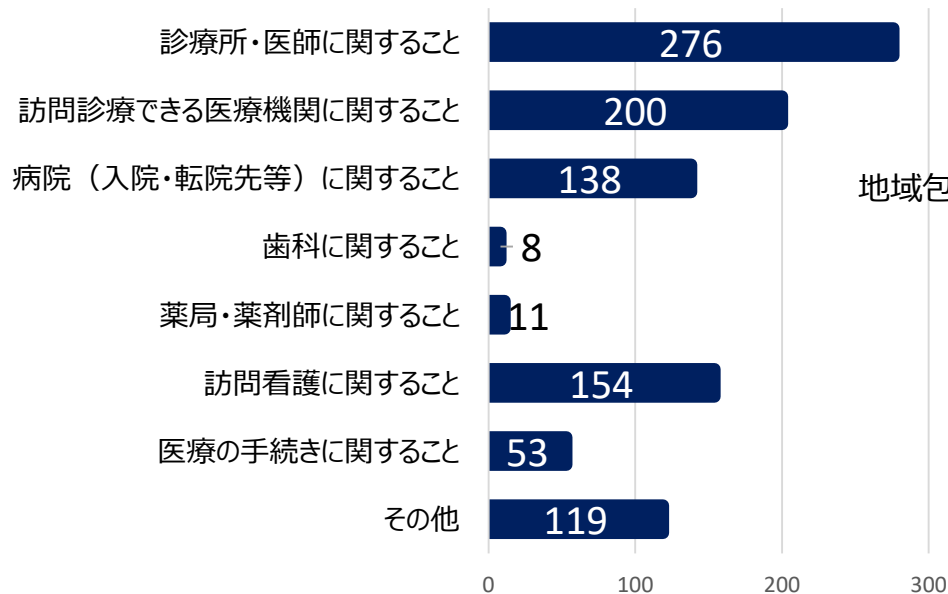


個別相談ケース（相談内容別内訳：複数回答）

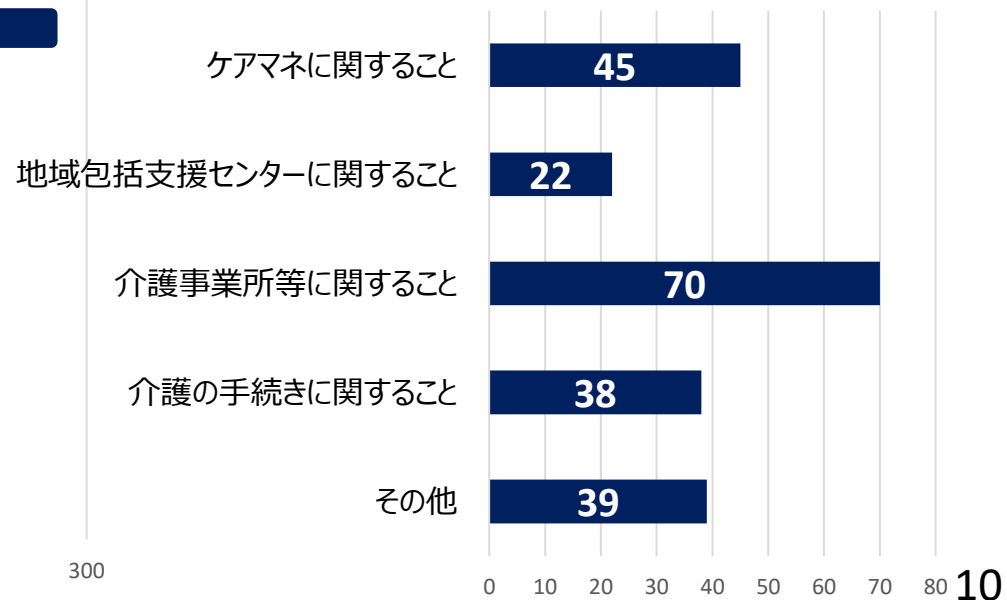
令和2年度上半期



【医療に関すること(内訳)】

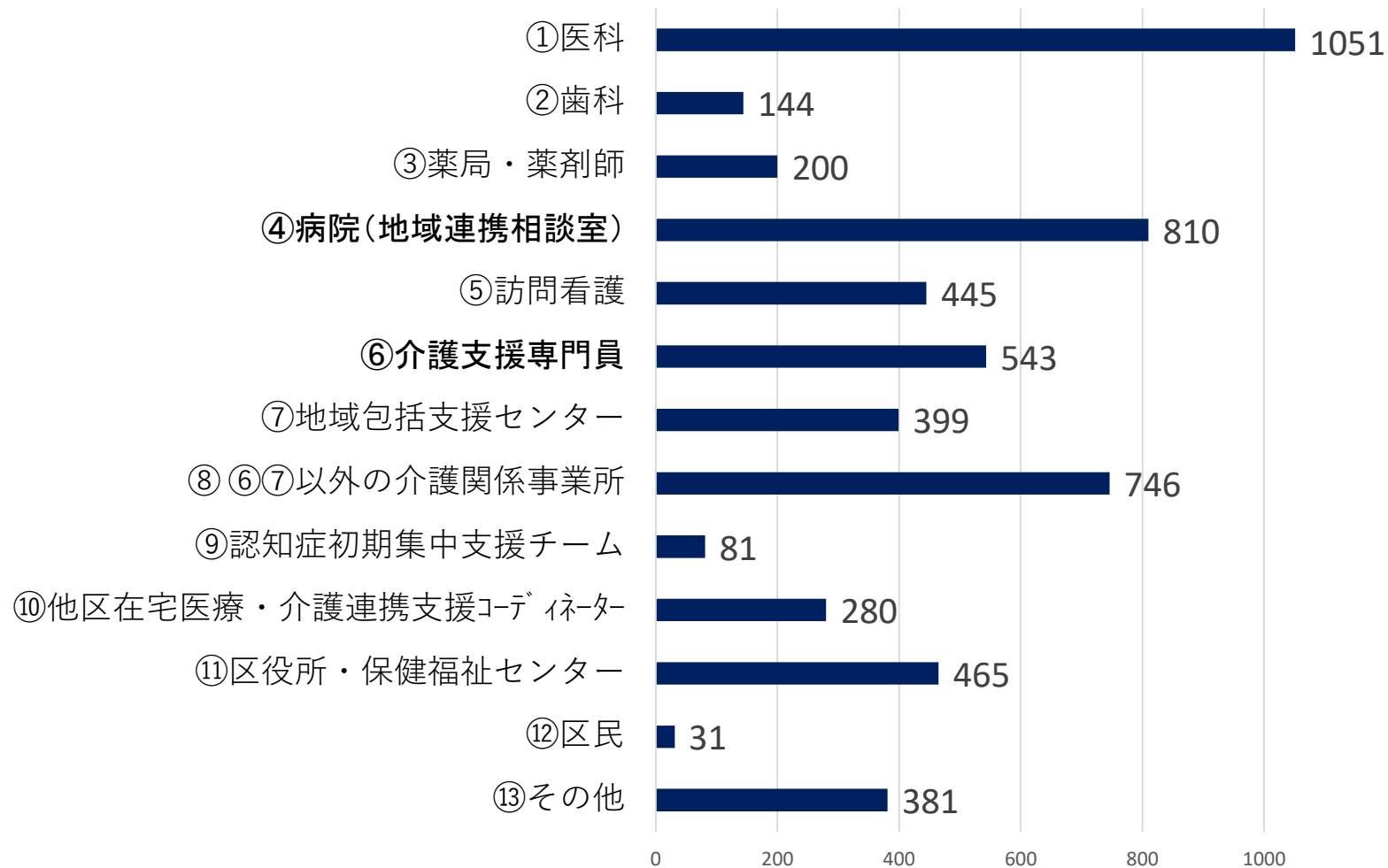


【介護に関すること(内訳)】



個別ケース以外の連絡調整

令和2年度上半期



会議・研修会等への参加

			令和元年度	令和２年度上半期
会議出席回数			2120	513
内訳	市の会議・研修会		727	172
	関係機関との会議・研修会		1393	341
	再掲	地域ケア会議	144	40

区役所・相談支援室の新型コロナウイルス感染症に関連した取組み

区役所・相談支援室

- 医療・介護関係者へアンケートを実施し、課題抽出
 - ➡医療・介護関係者で共有（推進会議等）
ホームページ等で周知
- 新型コロナウイルス感染症の正しい知識の普及
 - ➡研修会の開催（参集・オンライン）※共催含む
動画作成と配信
訪問看護ステーションと連携し、介護職へ周知啓発
- Web会議の開催（情報共有の場の設定）

相談支援室

- 訪問看護の連携体制の構築
 - ➡訪問看護ステーションが休止となった場合に備え、区内訪問看護ステーションより同意を得て、「協力訪問看護ステーションリスト」を作成
- 情報連携の手段として、事業所へICTツールの利用勧奨